

(別紙様式4)

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

平成29年4月1日

職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名 | 設置認可年月日 | 校長名 | 所在地 | | | | |
|----------------------|--|---------------------------|--|----------------|-----|----|----|
| 鹿児島情報ビジネス 公務員専門学校 | 昭和62年2月23日 | 熊谷 朋子 | 〒892-0842 鹿児島市東千石町19番32号 (電話) 099-223-8400 | | | | |
| 設置者名 | 設立認可年月日 | 代表者名 | 所在地 | | | | |
| 学校法人九州総合学院 | 昭和51年7月24日 | 川越 宏樹 | 〒860-0816 熊本市中央区本荘町657番地 (電話) 096-366-3862 | | | | |
| 目的 | 高度な商業簿記、工業簿記を修得し、財務諸表からの企業の財政状態、経営成績を読み取り、適正な経営分析ができるスキルを目指す。その専門性を生かし、会計人として社会で活躍できる人材の育成を目的とする。 | | | | | | |
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
| 商業実務 | 商業実務専門課程 | 総合ビジネス科 (会計ビジネスコース) | 平成14年2月27日 | — | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | 1920 | 1280 | | 640 | | |
| 生徒総定員 | 生徒実員 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | | |
| 80 人の 内数 | 14 人 | 2 人の 内数 | 12 人の 内数 | 14 人の 内数 | | | |
| 学期制度 | ■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日 | 成績評価 | ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験・提出物・出席状況等で評価する。 優・良・可・不可の4段階とする。 | | | | |
| 長期休み | ■夏期休業:7月25日～8月31日 ■冬期休業:12月21日～1月6日 ■春期休業:2月24日～4月7日 | 卒業・進級 条件 | (1)当年度の要出席時間数の96%以上の出席 (学生の手引き) (2)成績評価において「不可」がない事 | | | | |
| 生徒指導 | ■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 担任によるガイダンス、3者面談、2者面談等 | 課外活動 | ■課外活動の種類 無 ■サークル活動:なし | | | | |
| 就職等の 状況 | ■主な就職先、業界等 税理士事務所、一般企業(経理部門) ■就職率 ^{※1} : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 96.1 % ■その他 関連分野への就職率 100% (平成 27 年度卒業者に関する 平成28年5月1日 時点の情報) | 主な資格・ 検定等 | 日商簿記検定 2級 全経簿記検定 1級 全経所得税法 2級 全経法人税法 2級 建設業経理士 2級 ビジネス電話検定 ビジネス実務マナー検定 | | | | |
| 中途退学 の現状 | ■中途退学者 1名 ■中退率 2.3 % 平成27年4月1日時点において、在学者43名(平成27年4月1日入学者を含む) 平成28年3月31日時点において、在学者42名(平成28年3月31日卒業者をを含む) 総合ビジネス科全体の人数を掲載 ■中途退学の主な理由 入学後、すぐの段階で、カリキュラムに対する興味を失った。 最近、多い理由は、精神的に弱い学生が増えているためと、考えられる。 ■中退防止のための取組 担任によるガイダンス、3者面談、2者面談等の指導、場合によっては家庭訪問 学業面では、補講、補習の実施等 | | | | | | |
| ホームページ | https://www.kbcc.ac.jp | | | | | | |

(別紙様式4)

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

平成29年4月1日

職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名 | 設置認可年月日 | 校長名 | 所在地 | | | | |
|----------------------|---|----------------------------|--|------------|-----|----|----|
| 鹿児島情報ビジネス 公務員専門学校 | 昭和62年2月23日 | 熊谷 朋子 | 〒892-0842 鹿児島市東千石町19番32号 (電話) 099-223-8400 | | | | |
| 設置者名 | 設立認可年月日 | 代表者名 | 所在地 | | | | |
| 学校法人九州総合学院 | 昭和51年7月24日 | 川越 宏樹 | 〒860-0816 熊本市中央区本荘町657番地 (電話) 096-366-3862 | | | | |
| 目的 | 極めて高度な商業簿記・会計学・工業簿記・原価計算を修得し、専門的な知識で、会計基準や会社法などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができる人材の育成を目的とする。 | | | | | | |
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
| 商業実務 | 商業実務専門課程 | 総合ビジネス科 (会計ビジネス(1級)コース) | 平成14年2月27日 | — | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | 1920 | 1536 | 0 | 384 | | |
| 生徒総定員 | 生徒実員 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | | |
| 80 人の内数 | 1 人 | 2 人の内数 | 12 人の内数 | 14 人の内数 | | | |
| 学期制度 | ■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日 | 成績評価 | ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験・提出物・出席状況等で評価する。 優・良・可・不可の4段階とする。 | | | | |
| 長期休み | ■夏期休業:7月25日～8月31日 ■冬期休業:12月21日～1月6日 ■春期休業:2月24日～4月7日 | 卒業・進級 条件 | (1)当年度の要出席時間数の96%以上の出席 (学生の手引き) (2)成績評価において「不可」がない事 | | | | |
| 生徒指導 | ■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 担任によるガイダンス、3者面談、2者面談等 | 課外活動 | ■課外活動の種類 無 ■サークル活動:なし | | | | |
| 就職等の 状況 | ■主な就職先、業界等 税理士事務所、一般企業(経理部門) ■就職率 ^{※1} : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 96.1 % ■その他 関連分野への就職率 100% (平成 27 年度卒業者に関する 平成28年5月1日 時点の情報) | 主な資格・ 検定等 | 日商簿記検定 1級 全経簿記検定 上級 全経所得税法 2級 全経法人税法 2級 建設業経理士 2級 ビジネス電話検定 ビジネス実務マナー検定 | | | | |
| 中途退学 の現状 | ■中途退学者 1名 ■中退率 2.3 % 平成27年4月1日時点において、在学者43名(平成27年4月1日入学者を含む) 平成28年3月31日時点において、在学者42名(平成28年3月31日卒業者をを含む)総合ビジネス科全体の人数を掲載 ■中途退学の主な理由 入学後、すぐの段階で、カリキュラムに対する興味を失った。 最近、多い理由は、精神的に弱い学生が増えているためと、考えられる。 ■中退防止のための取組 担任によるガイダンス、3者面談、2者面談等の指導、場合によっては家庭訪問 学業面では、補講、補習の実施等 | | | | | | |
| ホームページ | https://www.kbcc.ac.jp | | | | | | |

(別紙様式4)

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

平成29年4月1日

職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名 | | 設置認可年月日 | 校長名 | | 所在地 | | |
|----------------------|--|---------------------------|--------------------------|--------------|---|-------|------------|
| 鹿児島情報ビジネス 公務員専門学校 | | 昭和62年2月23日 | 熊谷 朋子 | | 〒892-0842 鹿児島市東千石町19番32号 (電話) 099-223-8400 | | |
| 設置者名 | | 設立認可年月日 | 代表者名 | | 所在地 | | |
| 学校法人九州総合学院 | | 昭和51年7月24日 | 川越 宏樹 | | 〒860-0816 熊本市中央区本荘町657番地 (電話) 096-366-3862 | | |
| 目的 | 販売職・営業職・または接客業として必要な専門知識を学ぶ。その専門知識に深く関係する、日商リテールマーケティング検定・サービス接客検定・ビジネス電話検定・色彩検定等の取得を目指す。また、ラッピングやスタイリングといった専門知識も修得し、アパレル業界を始めとする流通業界や、営業職、最終的には起業もできる人材を育てる。 | | | | | | |
| 分野 | 課程名 | | 学科名 | | 専門士 | 高度専門士 | |
| 商業実務 | 商業実務専門課程 | | 総合ビジネス科 (ショップビジネスコース) | | 平成14年2月27日 | — | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | 1920 | 1376 | | 544 | | |
| 生徒総定員 | | 生徒実員 | | 専任教員数 | 兼任教員数 | | 総教員数 |
| 80 人の内数 | | 12 人 | | 2 人の内数 | 12 人の内数 | | 14 人の内数 |
| 学期制度 | ■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日 | | | 成績評価 | ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験・提出物・出席状況等で評価する。 優・良・可・不可の4段階とする。 | | |
| 長期休み | ■夏期休業: 7月25日～8月31日 ■冬期休業: 12月21日～1月6日 ■春期休業: 2月24日～4月7日 | | | 卒業・進級 条件 | (1) 当年度の要出席時間数の96%以上の出席 (学生の手引き) (2) 成績評価において「不可」がない事 | | |
| 生徒指導 | ■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 担任によるガイダンス、3者面談、2者面談等 | | | 課外活動 | ■課外活動の種類 無 ■サークル活動: なし | | |
| 就職等の 状況 | ■主な就職先、業界等 販売・営業スタッフ、アパレル業界 スタイリスト、ショップオーナー ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 96.1% ■その他 関連分野への就職率 100% (平成27年度卒業者に関する 平成28年5月1日時点の情報) | | | 主な資格・ 検定等 | 日商販売士検定 サービス接客検定 ビジネス電話検定 ビジネス文書検定 色彩検定 Word・Excel検定 | | |
| 中途退学 の現状 | ■中途退学者 1名 ■中退率 2.3% 平成27年4月1日時点において、在学者43名(平成27年4月1日入学者を含む) 平成28年3月31日時点において、在学者42名(平成28年3月31日卒業者を含む) 総合ビジネス科全体の人数を掲載 ■中途退学の主な理由 入学後、すぐの段階で、カリキュラムに対する興味を失った。 最近、多い理由は、精神的に弱い学生が増えているためと、考えられる。 ■中退防止のための取組 担任によるガイダンス、3者面談、2者面談等の指導、場合によっては家庭訪問 学業面では、補講、補習の実施等 | | | | | | |
| ホームページ | https://www.kbcc.ac.jp | | | | | | |

(別紙様式4)

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

平成29年4月1日

職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名 | 設置認可年月日 | 校長名 | 所在地 | | | | |
|----------------------|--|---------------------------|---|----------------|-----|----|----|
| 鹿児島情報ビジネス 公務員専門学校 | 昭和62年2月23日 | 熊谷 朋子 | 〒892-0842 鹿児島市東千石町19番32号 (電話) 099-223-8400 | | | | |
| 設置者名 | 設立認可年月日 | 代表者名 | 所在地 | | | | |
| 学校法人九州総合学院 | 昭和51年7月24日 | 川越 宏樹 | 〒860-0816 熊本市中央区本荘町657番地 (電話) 096-366-3862 | | | | |
| 目的 | ホテル・ブライダル業界への就職を念頭に置き、ABC検定、サービス接客検定、ビジネス電話検定等の取得を目指す。プレゼンテーションやホスピタリティを学び自ら生み出す力を身に付け、現役のホテルマンやブライダルコーディネータの指導の下に模擬結婚式を開催し、業界ですぐに活躍できる人材の育成を目的とする。 | | | | | | |
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
| 商業実務 | 商業実務専門課程 | 総合ビジネス科 (ブライダルビジネスコース) | 平成14年2月27日 | — | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | 1920 | 1280 | | 640 | | |
| 生徒総定員 | 生徒実員 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | | |
| 80 人の 内数 | 6 人 | 2 人の 内数 | 12 人の 内数 | 14 人の 内数 | | | |
| 学期制度 | ■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日 | 成績評価 | ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験・提出物・出席状況等で評価する。 優・良・可・不可の4段階とする。 | | | | |
| 長期休み | ■夏期休業:7月25日～8月31日 ■冬期休業:12月21日～1月6日 ■春期休業:2月24日～4月7日 | 卒業・進級 条件 | (1)当年度の要出席時間数の96%以上の出席 (学生の手引き) (2)成績評価において「不可」がない事 | | | | |
| 生徒指導 | ■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 担任によるガイダンス、3者面談、2者面談等 | 課外活動 | ■課外活動の種類 無 ■サークル活動:なし | | | | |
| 就職等の 状況 | ■主な就職先、業界等 ホテル業界、ブライダル業界 ブライダルコーディネータ、ホテルエ ■就職率 ^{※1} : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 96.1 % ■その他 関連分野への就職率 100% (平成 27 年度卒業者に関する 平成28年5月1日 時点の情報) | 主な資格・ 検定等 | ABC検定 ビジネス電話検定 ビジネス文書検定 色彩検定 サービス接客検定 簿記検定 コンピュータ会計 | | | | |
| 中途退学 の現状 | ■中途退学者 1名 ■中退率 2.3 % 平成27年4月1日時点において、在学者43名(平成27年4月1日入学者を含む) 平成28年3月31日時点において、在学者42名(平成28年3月31日卒業者を含む)総合ビジネス科全体の人数を掲載 ■中途退学の主な理由 入学後、すぐの段階で、カリキュラムに対する興味を失った。 最近、多い理由は、精神的に弱い学生が増えているためと、考えられる。 ■中退防止のための取組 担任によるガイダンス、3者面談、2者面談等の指導、場合によっては家庭訪問 学業面では、補講、補習の実施等 | | | | | | |
| ホームページ | https://www.kbcc.ac.jp | | | | | | |

(別紙様式4)

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

平成29年4月1日

職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名 | 設置認可年月日 | 校長名 | 所在地 | | | | |
|----------------------|---|---------------------------|--|-----------|-----|----|----|
| 鹿児島情報ビジネス 公務員専門学校 | 昭和62年2月23日 | 熊谷 朋子 | 〒892-0842 鹿児島市東千石町19番32号 (電話) 099-223-8400 | | | | |
| 設置者名 | 設立認可年月日 | 代表者名 | 所在地 | | | | |
| 学校法人九州総合学院 | 昭和51年7月24日 | 川越 宏樹 | 〒860-0816 熊本市中央区本荘町657番地 (電話) 096-366-3862 | | | | |
| 目的 | 医療機関・調剤薬局で必要とされる報酬請求事務を学ぶだけでなく、医療機関内のさまざまな医療活動がスムーズに運ぶよう、秘書検定1級取得を目標とするより高度な接遇マナーを習得し、医師事務作業補助や医療秘書業務の役割を果たせる人材育成を目的とする。 | | | | | | |
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
| 商業実務 | 商業実務専門課程 | 医療秘書科(秘書コース) | 平成20年2月26日 | — | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | 1952 | 656 | 480 | 816 | | |
| 生徒総定員 | 生徒実員 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | | |
| 60 人の内数 | 28 人 | 4 人の内数 | 5 人の内数 | 9 人の内数 | | | |
| 学期制度 | ■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日 | 成績評価 | ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験・提出物・出席状況等で評価する。 優・良・可・不可の4段階とする。 | | | | |
| 長期休み | ■夏期休業:7月25日～8月31日 ■冬期休業:12月21日～1月6日 ■春期休業:2月24日～4月7日 | 卒業・進級 条件 | (1)当年度の要出席時間数の96%以上の出席 (学生の手引き) (2)成績評価において「不可」がない事 | | | | |
| 生徒指導 | ■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 担任によるガイダンス、3者面談、2者面談等 | 課外活動 | ■課外活動の種類 無 ■サークル活動:なし | | | | |
| 就職等の 状況 | ■主な就職先、業界等 病院、診療所、調剤薬局 ■就職率 ^{※1} : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100 % ■その他 関連分野への就職率 100% (平成 27 年度卒業者に関する 平成28年5月1日 時点の情報) | 主な資格・ 検定等 | 診療報酬請求事務能力認定試験 秘書技能検定 ビジネス電話検定 ビジネス文書検定 医療秘書技能検定 医療事務技能審査試験 | | | | |
| 中途退学 の現状 | ■中途退学者 0名 ■中退率 0 % 平成27年4月1日時点において、在学者40名(平成27年4月1日入学者を含む) 平成28年3月31日時点において、在学者40名(平成28年3月31日卒業者をを含む) 医療秘書科全体の人数を掲載 ■中途退学の主な理由 ■中退防止のための取組 担任によるガイダンス、3者面談、2者面談等の指導、場合によっては家庭訪問 学業面では、補講、補習の実施等 | | | | | | |
| ホームページ | https://www.kbcc.ac.jp | | | | | | |

(別紙様式4)

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

平成29年4月1日

職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名 | 設置認可年月日 | 校長名 | 所在地 | | | | |
|----------------------|---|---------------------------|--|-----------|-----|----|----|
| 鹿児島情報ビジネス 公務員専門学校 | 昭和62年2月23日 | 熊谷 朋子 | 〒892-0842 鹿児島市東千石町19番32号 (電話) 099-223-8400 | | | | |
| 設置者名 | 設立認可年月日 | 代表者名 | 所在地 | | | | |
| 学校法人九州総合学院 | 昭和51年7月24日 | 川越 宏樹 | 〒860-0816 熊本市中央区本荘町657番地 (電話) 096-366-3862 | | | | |
| 目的 | あらゆる医療機関等で必要とされる診療報酬請求事務能力認定試験取得を目標とし、受付業務・カルテ管理・医事コンピュータ会計業務等、即戦力としてオールラウンドに対応できるスキルを身に付けることを目的とする。 | | | | | | |
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
| 商業実務 | 商業実務専門課程 | 医療秘書科 (診療報酬請求事務コース) | 平成20年2月26日 | — | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | 1952 | 656 | 480 | 816 | | |
| 生徒総定員 | 生徒実員 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | | |
| 60 人の内数 | 16 人 | 4 人の内数 | 5 人の内数 | 9 人の内数 | | | |
| 学期制度 | ■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日 | 成績評価 | ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験・提出物・出席状況等で評価する。 優・良・可・不可の4段階とする。 | | | | |
| 長期休み | ■夏期休業:7月25日～8月31日 ■冬期休業:12月21日～1月6日 ■春期休業:2月24日～4月7日 | 卒業・進級 条件 | (1)当年度の要出席時間数の96%以上の出席 (学生の手引き) (2)成績評価において「不可」がない事 | | | | |
| 生徒指導 | ■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 担任によるガイダンス、3者面談、2者面談等 | 課外活動 | ■課外活動の種類 無 ■サークル活動: なし | | | | |
| 就職等の 状況 | ■主な就職先、業界等 病院、診療所、調剤薬局 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100% ■その他 関連分野への就職率 100% (平成 27 年度卒業者に関する 平成28年5月1日 時点の情報) | 主な資格・ 検定等 | 診療報酬請求事務能力認定試験 秘書技能検定 ビジネス電話検定 ビジネス文書検定 医療秘書技能検定 医療事務技能審査試験 | | | | |
| 中途退学 の現状 | ■中途退学者 0名 ■中退率 0% 平成27年4月1日時点において、在学者40名(平成27年4月1日入学者を含む) 平成28年3月31日時点において、在学者40名(平成28年3月31日卒業者を含む) 医療秘書科全体の人数を掲載 ■中途退学の主な理由 ■中退防止のための取組 担任によるガイダンス、3者面談、2者面談等の指導、場合によっては家庭訪問 学業面では、補講、補習の実施等 | | | | | | |
| ホームページ | https://www.kbcc.ac.jp | | | | | | |